

## 「女性を幸せにする男性像」がいま社会に必要な理由

「女性を幸せにする男性像」一家にひとつプロジェクト

わが国最大の政治課題である「少子化による人口減少問題」を  
解決するためのツールとして、  
さらには「世界平和と人類繁栄」を実現するために  
いま求められているのです。

### 【最大の政治課題とは】

いま、国内では様々な問題が起きています。コロナ禍による経済危機、広がる格差・貧困問題、増加し続ける児童虐待、DV 被害、悪質巧妙化する犯罪、国際テロ、地球温暖化など環境問題、気候変動による自然災害の増加、緊迫化する外交・国際問題、北朝鮮の脅威、ひきこもり 8050 問題などいろいろな問題が挙げられます。しかし、現在の日本が抱える最大の政治課題は、なんといっても少子化による人口減少問題と超高齢社会の到来といえるでしょう。その理由は、他の問題と比較して、年金制度、健康保険などの社会保障制度に直接関係し、国民生活に重大な影響を及ぼすことになるからです。いまのペースで少子化傾向が続くと、人口減少は加速度的に進行し、2050 年には総人口は 1 億人を割り込み、2100 年の総人口は現在の半分以下になると政府は予測しています。人口の高齢化もさらに進行し、やがて近い将来 3 人に 1 人が 65 歳以上という極端な「少子高齢社会」が到来することになります。つまり、急速な人口減少は、経済産業や社会保障の問題にとどまらず、国や社会の存

立基盤を脅かす極めて深刻な問題なのです。

### 【これまでの取り組み】

少子化・人口減少問題に対して政府は、1990年代半ばから「エンゼルプラン」「新エンゼルプラン」に基づき、少子化対策を推進してきました。2003年には、少子化社会対策基本法、次世代育成支援対策推進法が制定され、2005年度からは「少子化社会対策大綱」とその具体的な実施計画である「子ども・子育て応援プラン」に基づき少子化対策が推進されてきました。しかしながら、これらの対策のみでは、少子化の流れを変えることはできませんでした。当時少子化の原因は「女性の非婚化・晩婚化・晩産化」、次に「女性の社会進出・価値観の多様化」とされていました。そして少子化問題には、出産・子育て支援が有効と考えられ「子育て支援」「働き方改革」に重点をおき対策が進められてきました。それでも一向に成果が見られないことから、近年ようやく政府は、出産、子育てだけでなく、その前段階である「結婚」にも焦点を合わせ、結婚を対策の重点に加えなければならないことに注目し始めたのです。そして2020年5月「少子化社会対策大綱」では「結婚、妊娠、子供・子育てに温かい社会」の実現のためとして、結婚を希望する人を応援し、子育て世帯をやさしく包み込む社会的機運の醸成という方針を打ち出し、今後少子化対策を進めていこうとしています。

### 【真の原因はなにか】

前述の通り政府はこれまで、少子化対策として主に「子育て支援」「働き方改革」に重点をおいて対策を進めてきました。そして、そのやり方では成果が出ないことから出産、子育ての前段階である

結婚にも注目して支援をしていく方向で対策を進めようとしています。しかし政府も少子化問題について結婚が重要であるということに注目しながらも現在もその「真の原因」をつかめておりません。というのも政府が行う結婚に対する支援が「地方公共団体による総合的な結婚支援の取組に対する支援」など極めて抽象的で形式的な対策に留まっているからです。ですから結婚という極めて重要なキーワードにたどり着きながらも現実的にはなにも解決・改善に向かって進んでおりません。さらには、前進しないばかりかその兆候すら見えていないのが現実なのです。ではなぜ、これほどまでに女性が結婚しなくなってしまったのか、前述した「女性の社会進出・価値観の多様化」等もたしかに関係はしているでしょう。しかし、本当の原因は、そこではないと私たちは考えています。実は、政府が近年、対策の重点に組み入れた「結婚を希望する人を応援し～」という部分、つまり「結婚」こそが解決への重要な手がかりと私たちは考えています。結婚は一人では当然できません。その相手となる男性が女性の非婚化の原因になっているのではないかと私たちは男性に注目したのです。つまりいままでの対策は、女性に対する支援ばかり重点に進めてきましたが、それでは全く成果は上がりませんでした。そこでこれまでほとんど注目されなかった男性こそが女性の非婚化の真の原因ではないか、ということなのです。そこで、まず相手となる男性について考えてみました。男性も大部分の人は「できれば結婚して幸せな家庭をつくりたい」と思っていることは間違えないでしょう。しかしながら昭和の高度成長期、一億総中流といわれた時代と違い、バブル崩壊後、平成の30年間で、非正規雇用の増加などが原因で男性の中で格差が生まれ、多くの男性が結婚したくても経済的理由から結婚をあきらめているということがひ

とつあります。さらに時代の変遷と共に社会全体に個人主義、自由主義の風潮が年々高まり、経済的にゆとりのある男性でさえ「自分の人生は自分の好きなように生きる」といった考え方ができるようになり、従来の就職、結婚、子ども、マイホームといった形にとられない生活を送る男性が増加しました。また単純に男性にとって家族で生活するよりも一人で生活する方が、より気楽に生活することができるため、結婚よりも一人で生活することを選択する男性が全体的に増えていることも事実です。当然そのような男性が増えれば、その分結婚したくても結婚できない女性がどうしても出てくるのです。では、女性の側からするとどうであろうか。女性も大部分の人は「できれば結婚して幸せになりたい」と思っていることでしょう。結婚したいのに、結婚ができないのは、なぜであろうか。問題はそのあたりにあると考えました。そこで女性からすると、前に述べた男性側の現状を踏まえたうえで「結婚はしたいが、結婚したいと思わせてくれる男性がいない」だから結婚できないという推測が成り立つのです。私たちは、少子化の原因はまさにここにあると考えています。また、もう一つ重要な問題があります。それは国内の離婚率の問題です。最近の統計では結婚した夫婦の内35%は離婚するという数字があります。これは、結婚を選択しない男性が増えて、ただでさえ結婚が難しい中で、どうにかそのハードルを乗り越えて結婚までたどり着いた夫婦でさえ3組に1組は離婚するという計算になります。これは実際に離婚した数字なので、離婚はしていないが結婚生活がうまくいっていない夫婦も含めれば、相当多くの夫婦が幸せな結婚生活を送っていないことになります。つまり結婚が難しい中で、結婚することができても本当に「幸せな結婚生活」を送っている人がどれだけいるか、ということになるのです。幸せ

な結婚なくして、出産、子育てがうまくいくはずもないでしょう。さらに、まだ幸せな結婚を阻害する要因があります。平成の時代にかけて急激に増加し、令和になっただけでも増え続けている犯罪があります。それは、児童虐待、女性に対する DV 犯罪です。このような犯罪が増加すると、結婚が難しい中、もし結婚、出産までたどり着いても、そこから先女性を待っているものは、子どもへの虐待、妻への DV ということが少なからず起きているのです。いまのこの現状では女性は安心して子どもを産むことさえもできないのです。そして、もし結婚して子どもが生まれても、安心して二人目、三人目と生むことができないことへもつながるのです。以上まとめると、私たちは、少子化の「真の原因」は、第一にいまの女性には「結婚したいと思わせてくれる男性がいない」だから結婚できないこと、第二にたとえ結婚しても「幸せな結婚生活を送れない」だから安心して出産、子育てができないこと、の2つと考えております。

### 【どうすればよいか】

前述したとおり、私たちが少子化の「真の原因」として考えることは「結婚したいと思わせてくれる男性がいない」「幸せな結婚生活を送れない」という2つの問題です。どうしたらこの2つの問題を解決できるのでしょうか。簡単に結論の出る問題ではありませんが、ひとつ確実にいえることがあります。それはこの問題はどうか考えても男性なしでは解決することができないということです。つまりどうしてもこの問題の解決には男性の力が必要なのです。男性の存在なくして少子化問題の解決はあり得ないのです。では男性はどうしたら良いのでしょうか。そもそも男性が天から授かった使命とは何なののでしょうか。言い換えると男性の本来の使命です。もちろ

人によりいろいろな意見があるでしょう。しかし私たちは「男性が天から与えられた使命は女性を幸せにすること」と考えています。この考え方こそがいまの社会には必要なのです。では、どうしたら男性は女性を幸せにできるのか。それも簡単には答えは出ないでしょう。しかし、私たちは、女性を幸せにすることは「女性を笑顔にすること」と考えています。ですから、男性にとっての最高の勲章は、「女性の笑顔」なのです。女性を笑顔にできる男性こそ最強の勇者なのです。男性の価値は、地位や名誉、収入で決まるものではありません。女性を笑顔にする男性こそ「真の男性」なのです。私たちはそう考えています。しかし、一方的に世の男性たちに対して「女性を笑顔にしてください」と言っても男性たちも具体的にどう行動したらわからないと思います。そこで私たちは、男性が女性を笑顔にするための行動指針として、つまり女性を幸せにする男性とはどのような男性なのかを「女性を幸せにする男性像」としてCD（コンパクトディスク）にまとめました。その内容を少しご紹介しますと愛情、品格、経済力の3つの要素からどのような男性が女性を幸せにできるのかを説明しております。（CD商品の詳細については会オフィシャルサイト：特商法表記：商品説明欄又はクラウドファンディングページをご覧ください。）また政治課題の取り組みに役立てるという側面以外にも、結婚したくてもなかなか結婚できない人、結婚していてもが結婚生活がうまくいっていない人には、ぜひお手元においてにしてください、問題解決への糸口・原動力として活用していただきたいのです。そして、男性のみなさまにはこの「女性を幸せにする男性像」を参考にして、世の女性を笑顔にしてほしいのです。つまり、私たちが少子化の「真の原因」として考える「結婚したいと思わせてくれる男性がいない」「幸せな結婚生

活を送れない」という2つの問題を解決するために、いまの社会に一番足りていないものは「女性を幸せにする男性」だったのです。言い換えるといま社会に求められ、必要とされる男性とは「女性を幸せにする男性」なのです。そしていまこそ「女性を幸せにする男性像」を社会に広めなければならないのです。

### 【一家にひとつプロジェクト】

私たちはわが国最大の政治課題である「少子化による人口減少問題」解決のため、「女性を幸せにする男性像」一家にひとつプロジェクトを推進しています。このCDが一家にひとつ行き渡り、各人が行動指針として活用すれば、それぞれの家庭で女性の笑顔があふれることでしょう。そうなれば「少子化による人口減少問題」は解決に向かい、「女性が笑顔になる社会」実現へとつながっていくのです。また当該プロジェクトは、前述した政府の2020年5月「少子化社会対策大綱」による「結婚、妊娠、子供・子育てに温かい社会」の実現、結婚を希望する人を応援し、子育て世帯をやさしく包み込む社会的機運の醸成、という方針にもぴったり合致したまさにいまの日本にとって重要不可欠のプロジェクトといえるのです。また、もう一つ私たちがこのプロジェクトを活動重点としている理由があります。それは、「女性を幸せにする男性像」が社会全体に広がり、「女性が笑顔になる社会」が実現したとき、最大の政治課題である「少子化による人口減少問題」の解決はもちろん、実はほとんどの政治課題が解決することです。例えば、経済問題、犯罪問題、環境問題、国際問題、8050問題なども「女性を笑顔」をルールに行動すると、当然男性はしっかり働かなくてはなりません、犯罪をするわけにはいきません、環境も良好に保たなくてはなりません、

戦争するわけにはいきません、ひきこもってはられません。そう  
なれば結果として、経済は上向く、犯罪はなくなる、環境は良くな  
る、世界が平和になる、ひきこもりもなくなる、ということにつな  
がり主な政治課題はすべて解決するのです。そして女性の笑顔から  
世界平和と人類の繁栄へとつながっていくのです。つまり「女性の  
笑顔なしに、平和と繁栄はあり得ない」のです。従って、私たちは  
当面の活動重点として「女性を幸せにする男性像」一家にひとつプ  
ロジェクトを強力に進めていく所存です。

#### 【みなさまへのお願い】

私たちは「女性の笑顔が平和・繁栄の象徴である」ととらえ、女性  
が笑顔になる社会をめざすことにより、世界平和と人類の繁栄に寄  
与する」ことを理念に活動しております。そしていま「女性を幸せ  
にする男性像」一家にひとつプロジェクトにより、わが国最大の政  
治課題「少子化による人口減少問題」及びその他主要な政治課題解  
決をめざしています。従って、みなさまには政治課題解決のため、  
そして「女性が笑顔になる社会」実現のため、さらには女性の笑顔  
がもたらす「世界平和と人類繁栄」のため、今後ともご理解・ご協  
力をお願いします。

女性が笑顔になる会  
会長 赤座孝明



以下「女性を幸せにする男性像」抜粋

041 女性を幸せにする男性像

## ①あふれる愛情

あなたの笑顔が私にとって最高の幸せ

男性にとっての最高の勲章は、「女性の笑顔」です。まずは身近な女性を笑顔にすることから始めましょう。奥様、お母様、娘さん、ご友人、同僚など女性を笑顔にするのです。女性を笑顔にできる男性こそが最強の勇者なのです。男性の価値は、地位や名誉、収入ではありません。女性を笑顔にする男性こそ「真の男性」なのです。

## ② 品格がある

礼儀、身だしなみ、「内面周到、外面スマート」な態度

第二の条件は、品格です。常に、礼儀正しく、身だしなみが整っていることが大切です。どんな事態に遭遇しても冷静で、涼やか、心の中は用意周到でも、それを外に出さずスマートに立ち振る舞う。それができる男性は、女性に安心感、信頼感を与えます。

## ③安定した経済力

「先を読み、先手を打つ」、優れた危機管理

第三の条件は、安定した経済力です。これは高収入という意味ではありません。女性が安心して生活していける収入を意味します。男性として常に将来を見据え「先を読み、先手を打つ」という危機管理意識を持っていれば、自ずと「安定した経済力」はついてくるでしょう。

# 我が家のルールは 「奥様の笑顔」

たくさんのルールはいらない、ルールはたった一つ  
「奥様の笑顔」

家庭内で家計、育児、生活等についてルールを作れば作るほど、もめごとが起こり、家庭は乱れます。家庭のルールはただ一つ「奥様の笑顔」それだけでいいのです。どうするか迷ったときは「奥様の笑顔」を基準にして決めましょう。女性はだれもがみな「お姫様」、自分の奥様を世界一幸せにする気持ちでお仕えしましょう。そうすることが家庭に幸福を呼び込みます。独身の方は、「奥様」を「母親・姉妹等家族、友人、同僚等」へ置き換えても結構です。この考え方は、組織が大きくなっても同じです。会社ならば、我が社のルールは「女子社員の笑顔」、自治体や国も全く同じです。我が国のルールは「女性の笑顔」、女性の笑顔は平和・繁栄の象徴なのです。